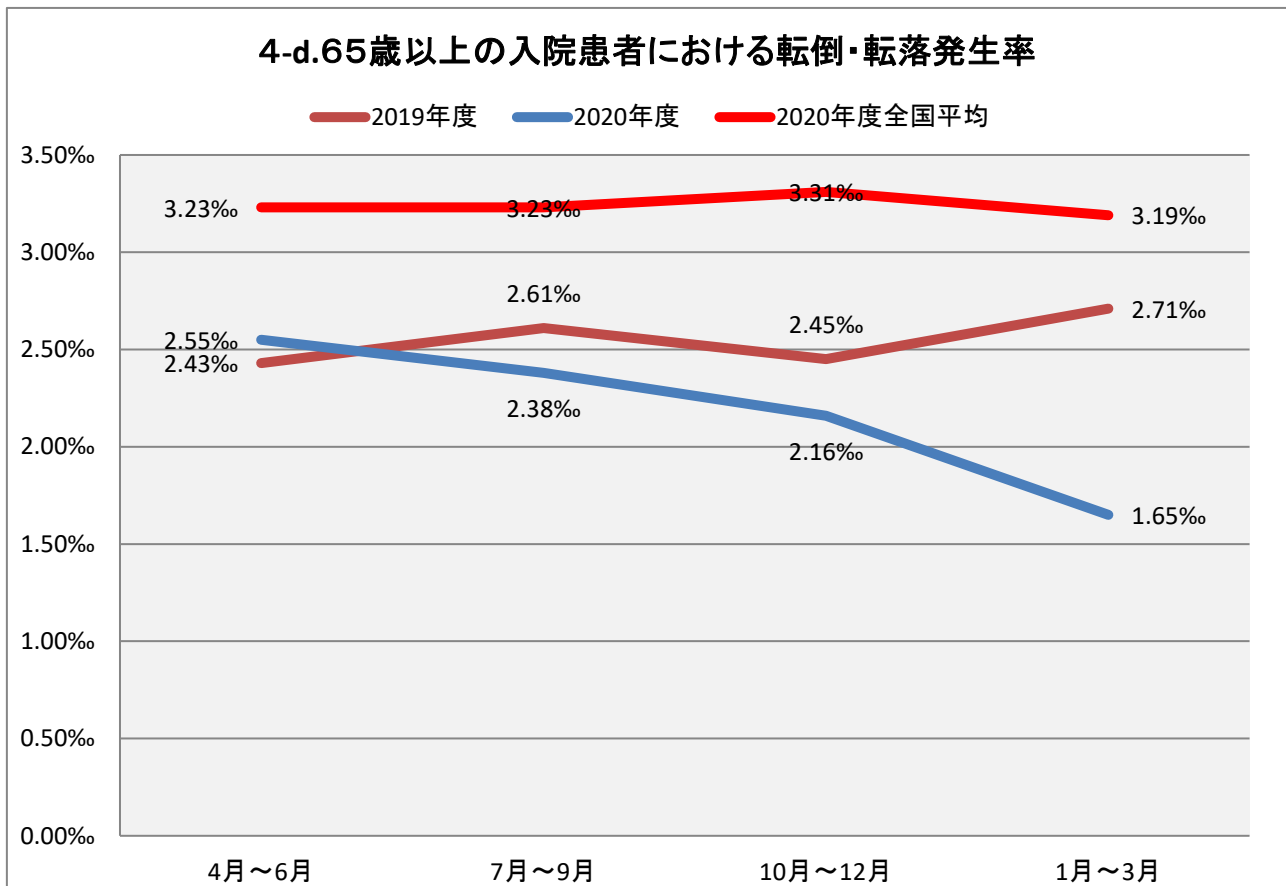


4-d.65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2020年度	2.55‰	2.38‰	2.16‰	1.65‰
2019年度	2.43‰	2.61‰	2.45‰	2.71‰
2020年度全国平均	3.23‰	3.23‰	3.31‰	3.19‰

- (2) 指標の説明
- 転倒・転落による傷害発生事例の件数は少なくても、それより多く発生している傷害に至らなかった事例もあわせて報告して発生件数を追跡するとともに、それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなります。こうした事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。
- 2019年度から65歳以上の転倒・転落発生率を採用しました。

- (3) 定義
- 分子: 65歳以上の入院中の患者さんに発生した転倒・転落件数
 分母: 65歳以上の入院患者延べ数

※ ‰(パーミル)・・・1000分の1を1とする単位